

「命の碑」 建立について

令和元年9月5日

「命の碑」建立については、ご遺族の皆さんのお考えがさまざまあるなか、要望の全てを受け入れることはできませんが、校内委員会で協議した結果、以下の案を提案します。

1 設置目的

設置目的は以下の案1または案2のいずれかとし、背面碑文の「命の碑について」に記載したい。

命の碑について

(案1) この「命の碑」は、那須雪崩事故を風化させることなくその教訓を永く心に留め、あらゆる場面において命を最優先し、安全な教育活動を実践することを誓うために建立するものである。

(案2) この「命の碑」は、那須雪崩事故を風化させることなくその教訓を永く心に留め、あらゆる教育活動において命を最優先し、悲惨な事故を二度と起こさないことを誓うために建立するものである。

2 碑文（案）

- ・表面は「命」としたい。
- ・背面は事故の概要を記した「那須雪崩事故について」と建立目的を記した「命の碑について」としたい。（別紙）
- ・「那須雪崩事故について」は簡潔に事故の概要に触れるだけとしたい。

3 設置場所について

- ・教室棟西端南、昇降口わきの芝生スペースに設置したい。

4 設置費用について

- ・同窓会員からの寄付で必要見込額は集まっています。

5 設置時期と除幕について

- ・条件が整えば、年内に基礎工事を終えたいと考えています。
コンクリートを打つには厳寒時期を避けるため、年内に基礎工事を行う必要があります。
- ・さらに条件が整えば、令和2年3月27日に除幕式を行いたいと考えています。

「命の碑」背面碑文(案の1)

那須雪崩事故について

平成二十九年三月二十七日午前八時四十三分頃、那須茶臼岳通称「天狗岩」付近で発生した雪崩に、栃木県高等学校体育連盟及び登山専門部主催の「春山安全登山講習会」に参加していた県内高校山岳部員及び顧問多数が巻き込まれ、本校生徒七名、本校教諭一名が死亡し、負傷者が四十名に及ぶという痛ましい事故となった。

命の碑について

この『命の碑』は、那須雪崩事故を風化させることなくその教訓を永く心に留め、あらゆる場面において命を最優先し、安全な教育活動を実践することを誓うために建立するものである。

令和二年三月二十七日

栃木県立大田原高等学校
栃木県立大田原高等学校紫塚同窓会

「命の碑」背面碑文(案の2)

那須雪崩事故について

平成二十九年三月二十七日午前八時四十三分頃、那須茶臼岳通称「天狗岩」付近で発生した雪崩に、栃木県高等学校体育連盟及び登山専門部主催の「春山安全登山講習会」に参加していた県内高校山岳部員及び顧問多数が巻き込まれ、本校生徒七名、本校教諭一名が死亡し、負傷者が四十名に及ぶという痛ましい事故となった。

命の碑について

この『命の碑』は、那須雪崩事故を風化させることなくその教訓を永く心に留め、あらゆる教育活動において命を最優先し、悲惨な事故を二度と起こさないことを誓うために建立するものである。

令和二年三月二十七日

栃木県立大田原高等学校
栃木県立大田原高等学校紫塚同窓会

